

令和5年6月取手市仮置場における職員派遣について（茨城県）

被災状況等

- R5.6.2~3 大雨により取手市で浸水被害発生
床上436件、床下166件
- R5.6.5 取手市仮置場設置がされ、同日に取手市から災害廃棄物処理に係る協定に基づき職員派遣要請があった

派遣概要

- 派遣日数 6/8~6/27
- 派遣人数 延べ86名（36市町村、県庁部内各課）
6/8~6/20 5名/日（市町村4名/日+県1名/日）
6/21~6/27 3名/日（市町村2名/日+県1名/日）
- 作業内容 仮置場における搬入車両の誘導、受付補助等

職員派遣までの流れ

6/5（月）職員派遣の要請

- 取手市より電話で要請あり
- 被災報告を基に、他被災市町村のニーズも併せて電話で照会（結果的に取手市のみ）

6/6（火）県内市町村へ派遣可否の照会

- メールで照会（翌日朝☑：回答あり38、回答なし4、対象外2市町村 / 44市町村）
- 取手市から情報提供してもらい、派遣職員向けの案内を作成

6/7（水）派遣市町村の調整

- 市町村職員4名/日、県職員1名/日
- 回答市町村から全体的に満遍なく調整し、メールで通知

6/8（木）職員派遣開始

- 荒天等による中止に備え緊急連絡先を確認（土・日・月曜日のみ）
- 以降、現場の状況に応じて派遣延長や人数整理を取手市と検討

職員派遣を終えて

良かった点

- 市町村からの回答率が不安だったが、想定より多くの回答があった。市町村等職員向け研修を実施することで意識啓発を図る必要性を再確認した。
- 多くの市町村職員に実際の現場を見てもらうことで、災害ごみ対応の雰囲気を感じてもらえることができた。

課題

- 仮置場における災害ごみ搬入のピークが過ぎてから、派遣職員の人員の余剰が発生。現場の状況を見極めながら、人数を整理していく必要があると感じた。
- 災害発生時に備え、事前に過去資料の整理や流れを把握しておくことで、よりスムーズに対応できたかと感じた。